



学校図書館だより

5月号

令和5年5月
柏市立柏第五中学校
柏市学校図書館指導員
岩瀬瞳

新緑の美しい季節となりました。大堀川の河原も「万緑（ばんりょく）」という言葉がぴったりなほどに、緑が一面にまぶしく輝いています。新年度がスタートして1か月が経ちました。本格的な学校生活がはじまり、時には少し疲れを感じることもあるかもしれません。音楽や読書は、疲れた心によく効きます。物語の世界でリフレッシュしたり、自分に寄り添ってくれる言葉や存在と出会うことで、不思議と心がやわらかくなります。自分を元気にする本を探しに、図書館へ来てみてくださいね。

五中図書館長・渡邊校長先生から皆さんへのメッセージ

私が中学生になったばかりの頃は、本を読むことが苦手でマンガばかり読んでいました。そんな自分に「心にとっての読書は、身体にとっての運動と同じことだよ」と当時の担任の先生に教えていただいたことがきっかけで、少しずつ本を読むようになった覚えがあります。その後、いろいろな本に出会いましたが、読書は、難しくつまらない本をねじり鉢巻きして読む必要はなく、自分が面白いと思う本に出会うことが大切なのではと感じるようになりました。

読書をするのが面白くなるためには、「いいなあ」「不思議だな」と思うことをたくさん貯めることだと思います。そんな本が学校の図書館にもたくさんあります。ぜひ、図書館に行っているいろいろな本を手に取り、読書が面白くなる本を探してみてください。

ちなみに、長い文章を読むのが苦手だった中学時代の自分は、星新一さんのショートショートばかり読んでいて、中でも「ノックの音が」という本がとても懐かしく思えます。



学校図書館長
渡邊 校長先生

読書には心が動く瞬間があり、その心の動きがまた新しい本との出会いにつながります。「自分が面白いと思う本に出会う」、校長先生、すてきなメッセージをどうもありがとうございました！

校長先生の思い出の一冊、『ノックの音が』（星新一・新潮社）を図書館に準備しておくので、ぜひ読みに来てくださいね。「ノックの音がした」からはじまるサスペンス、スリラーからコメディまであるショートショートです。



日本十進分類法(NDC)



【本の請求記号】本の背表紙にあるラベル

日本のほとんどの図書館は、日本十進分類法によって本を並べています。本を探すときや棚に返すときは、本の背表紙にある3ケタの数字を見て下さい。

*館内の掲示も参考にしてくださいね！

913
アサ
2

←分類番号（分類記号）

←図書記号（著者や編者の名前の頭文字です）

←巻冊記号（シリーズや全集などの順番を示します）

今月のおすすめ 《テーマ：主人公は中学生》

『クラスメイツ 前期』

森 絵都（著） 偕成社 〈NDC913〉

うれしい出会いや、ささいなきっかけの仲違い、初めての恋のときめきや、仲間はずれの不安、自意識過剰の恥ずかしさや、通じあった気持ちのあたたかさ。子どもじゃないけど大人でもない、そんな特別な時間の中にいる中学生たちの1年間。だれもが身にしみるリアルさを、シリアスなのに笑えて、コミカルなのにしみじみとしたユーモアでくるんだ作品集。

続編『クラスメイツ 後期』

※偕成社HPより引用 <https://www.kaiseisha.co.jp/>

『僕は上手にしゃべれない』

椎野 直弥（著） ポプラ社 〈NDC913〉

小学校の頃から吃音に悩んできた主人公・柏崎悠太。中学入学式の日、自己紹介のプレッシャーに耐えられず、教室から逃げ出してしまう。なんとかしたいと思う悠太が、部活勧誘で受け取った一枚のチラシ。そこには「誰でも上手に声が出せるようになります」と書かれていて……。自身も吃音に悩んだ著者が、物語としての面白さに加え、吃音を知らない人が吃音と吃音者の思いを理解できるものにしたいと書いた一冊。吃音に悩み、立ち向かった少年の本気の物語。

※一部ポプラ社HPより引用 <https://www.poplar.co.jp/>